

記憶, 感情, 健康に関する認知・行動の研究

キーワード[記憶, 感情, 学習]

准教授 小林 正法



過去と未来

記憶と未来思考

感情

感情と認知・行動の相互作用



健康・パーソナリティ

健康, 食, パーソナリティ



内容:

• 過去と未来

経験(記憶)は, 現在そして将来の行動に大きな影響を与えます。また, 近年の研究から将来, 起こりうる出来事を詳細に考えるも記憶システムが担っていることが明らかになっています。当研究室では, 過去の行動と未来の行動がどのように関わり, そしてそれぞれがどのような機能を持つのかを調べています。

• 感情

感情は認知や行動に影響を与えます。当研究室では, ネガティブ/ポジティブ感情が行動や意思決定にどのような影響を与え, 感情がどのような役割や機能を持つのかを調べています。

• 健康・パーソナリティ

健康に関する研究として, 食物の美味しさ評価にその食物を覚えていること(食物記憶)がどのような影響を与えるかという研究も行っています。

アピールポイント:

人間の記憶や感情に関する行動科学・心理学的研究を行っています。

所属: 人文社会科学部
分野: 行動科学, 認知心理学
専門: 記憶

E-mail : mk@human.kj.yamgata-u.ac.jp

Tel : 023-628-4829

HP : <https://mklab.info/>

